

「皮革手工芸教室」楽しさ広め来月50年

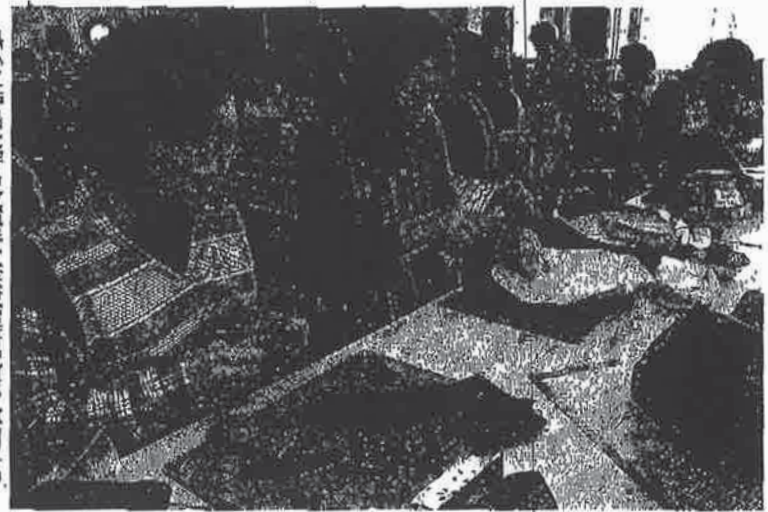
「皆が家族みたいよ」

1966年に設立した全国皮革振興会(吉田輝幸理事長)が運営する「皮革手工芸教室」が、4月で50年を迎える。同会の倉科徳太郎事務局長は「これからの50年も、皮革手工芸の楽しさを伝えていきたい」と話す。

「メンテナンス」と華を手縫いするため、穴を丁寧に開け、縫飾を施す音が響く。作品を批評し合う姿も談笑する姿も。教室は、人気ブランド「吉田カバン」の創業者や関係者が、皮革の魅力を伝えようと同社工場の一角で始めた。

現在は初心者対象の基礎科30人、基礎科修了後の研究科、専門科206人が在籍。子育てが一段落した主婦や定年を迎えた男性、休日の楽しみにと始めた会社員の30〜90代とさまざま。専門科1年目の水島麻香さんは「両親と義父母の同時4人介護の時期を終え、自分の楽しみにと始めました。子供のころに憧れた母のワインレットのバッグを作りたい」と目を細めた。

10年、20年と通う生徒も多い。今年で80歳になる最年長の橋本三代さんは「教室は一人、一人に來るとおしゃべりが楽しい。皆が家族みたいよ」と話した。【鈴木加代子】



熱心に作品を作る皮革手工芸教室研究科、専門科の生徒たち(台東区蔵前4の東京靴会館で)

基礎科4月生募集

9月までの毎週火曜日から土曜日午後1〜4時、台東区蔵前4の東京靴会館。火曜40人、土曜20人で先着順。共用費月額4000円、材料費半年分約3万円、工具費7000円が必要。31日締め切り。問い合わせは同会(03・3865・7457、平日午前9時半〜午後3時)。

下町 TOKYO

tokyo@mainichi.co.jp

千100-8051
千代田区一ツ橋1の1の1
TEL 03-3213-9701
FAX 03-3212-5186

購読・配達は

フリーダイヤル
0120-408-012
(6〜21時)

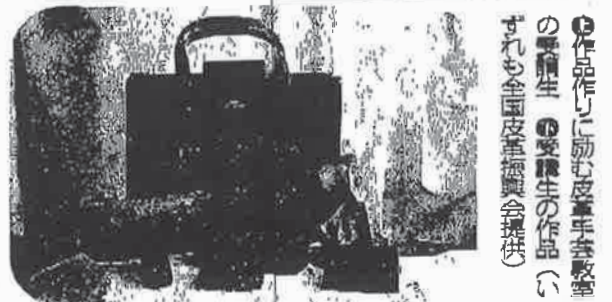
皮革で手芸品つくってみよう 全国皮革振興会の教室50周年



4〜9月、台東区で開講

皮革のPR活動を続ける全国皮革振興会(東京都台東区、吉田輝幸会長)は、四〜九月に関く皮革手工芸教室の受講生を募集している。教室は今年五十周年を迎え、昨年までの修了者は約三千四百人になる。振興会は「今後も続けたい」として、参加を呼び掛けている。

講習は毎週火曜もしくは土曜の午後1〜4時。場所は東京靴会館(台東区蔵前)。



①作品作り②働く皮革手工芸教室の受講生③受講生の作品④いずれも全国皮革振興会提供

四) 振興会の認定指導員を講師に、革で小銭入れやバッグなどを作る。入会金と月謝は無料だが、共用費四千円と材料代などが必要。

定員は火曜四十人、土曜二十人。申し込みと問い合わせは全国皮革振興会(TEL 03(3865)7457(平日午前九時半〜午後三時))へ。

記者を誘ふ

川崎支局から

かざれました。先月、多摩区では菜の花の一種「のらぼう菜」の収穫が始まりました。炒め物などにすると、おいしいそうです。恥をかきながら

よく知りませんでした。ちなみに私の好物は宮前区の「宮前メロン」。大きくて甘いのが特徴です。これから四季折々の話題をお届けしたいと思います。(小)

2016-03-05

ご意見募集
FAX 03(3595)7085
Eメール syutoken@tokyo-np.co.jp